

# 19 メキシコ

# United Mexican States

<2007年>

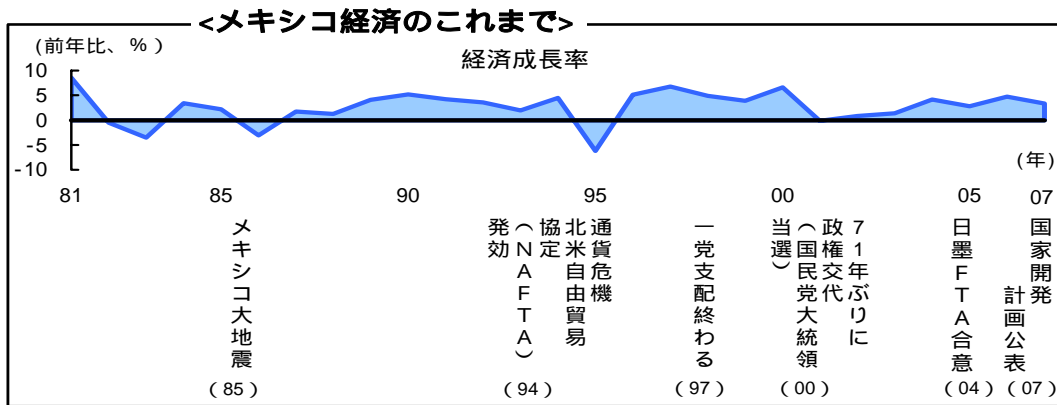
人口 1億534万人

財政会計年度  
為替制度  
通貨

1月～12月  
変動相場制  
ペソ

一人当たりGDP 8,503ドル  
産業構造(GDP構成比)  
1次産業 4.0%  
2次産業 26.0%  
3次産業 70.0%

面積 196.4万km<sup>2</sup> (日本の約5倍)



メキシコの主要経済指標

		96～05年	2006年	2007年	2008年			
					政府	OECD	IMF	民間機関
実質GDP	前年比%	3.6	4.8	3.3	2.8	2.8	2.0	実質GDP
鉱工業生産	同上	3.9	5.0	1.4	-	-	-	
消費者物価	同上	12.2	3.6	4.0	3.0	4.4	3.8	平均
失業率	%	3.4	3.6	3.7	-	3.7	-	2.7
経常収支	億米ドル		22	73	199.3	103	-	最大
(GDP比)	%		(0.3)	(0.8)	(2.3)	(1.0)	(1.0)	3.1
財政収支	億米ドル		7.7	2.4	-	-	-	最小
(GDP比、年度)	%		(0.1)	(0.0)	(0.0)	-	-	2.2
政府債務残高	億米ドル		1,953	2,161	-	-	-	(21社)
(GDP比、年度末)	%		(23.2)	(24.1)	-	-	-	

(備考) 1. メキシコ銀行、メキシコ地理情報統計院、IMF “International Financial Statistics”より作成。

見通しの政府はメキシコ財務省、OECDは“Economic Outlook”(2008年6月)、

IMFは“World Economic Outlook”(2008年4月)による。

2. 財政収支は、一般政府。2002年は、農業開発銀行(Banrural)解散の影響を除いたもの。

3. 政府見通しの消費者物価は、12月の前年同月比。

## <2007～08年の経済>

2007年の経済成長率は、アメリカの景気減速の影響による輸出の鈍化等もあり、06年の4.8%から減速し、3.3%にとどまった。輸出の動向をみると、これまで好調であった自動車輸出がアメリカの需要鈍化とともに減速し、低い伸びにとどまった(06年11.1%、07年5.5%)。内政面では、カルデロン大統領による「2007～2012年国家開発計画」が07年6月に発表され、競争力のある経済を目指して、一人当たりGDPの20%増加(06年比)等の数値目標が示されている。また、07年9月に可決された税財政改革法等に基づき、石油依存型の歳入の是正や、企業に対する一律税の導入等が実施されている。

08年は、経済面で結びつきが強いアメリカ経済の減速に伴い、2%台の成長へとさらに鈍化することが見込まれている(政府見通し2.6%、IMF見通し2.0%、民間機関21社の平均2.7%)。また、物価面では、国際的な商品価格高騰の影響と、産油国である同国への海外からの投資資金流入による内需の押上げから、インフレ懸念が高まっている。このため、08年6月にメキシコ銀行は8カ月ぶりに政策金利を0.25ポイント引き上げ、7.75%とした。